

市長会見やメディアを通して発信した情報の一部を紹介！

動きます、佐賀市。

NEWS LETTER | VOL.51

CloseUP

大雨の浸水被害に備えて 「排水ポンプ車」を新たに導入

スピーディーに動いて、 雨の日の不安を和らげる。

土地が低く、雨水がたまりやすい佐賀市。大雨による浸水被害の軽減を図るため、新たに「排水ポンプ車」を導入しました。

25mプールを約10分で空にする力があります。日頃から水位を監視し、大きな被害が予想される市内の要所へ素早く出勤。氾濫予想水路等の強制排水を行うなど、まち全体の排水能力を力強く後押しします。いざという時に、迅速に動き出しまちを守る。新たな備えが、皆さんの安全・安心を支えます。

雨への備えも、歳を重ねる毎日、柳町で涼やかに聞こえる風鈴の音も。暮らしのそばにある「安心」と「誇り」を、皆さんと一緒に育てるため、これからも動き続けます。

坂井市長



Media

高齢者の「フレイル・認知症」対策へ、 大学や企業などと連携

自分らしく自立した生活を続けられる 地域づくりを進めます。

フレイル（虚弱）や認知症の対策に向け、大学や企業、医療・福祉関係者と連携した取り組みを始めました。

それぞれの専門知識やノウハウなどを掛け合わせることで、高齢者の健康づくりや社会参加に向けた効果的な仕組みをつくりまします。

地域の力を結集して高齢者の日常を支え、安心して年を重ねられるまちへ、支え合いの輪を広げていきます。



虚弱や認知症対策、官民連携で検討

佐賀市は、高齢化が進む中、高齢者の健康と生活の質を向上させることが重要な課題となっている。市は、大学や企業、医療・福祉関係者などとの連携を強化し、高齢者の健康づくりや社会参加に向けた効果的な仕組みをつくりまします。

高齢者が安住できる地域に

佐賀新聞社 令和8年4月25日掲載

News

歴史と価値をつなぐ 「柳町ブランドロゴ」誕生

涼やかな風鈴に誘われて、 知らなかった佐賀城下の歴史に出会う

佐賀城下の東の玄関口として栄え、今も豊かな歴史景観が残る柳町。

その希少な価値を一つにつなぐため、新しい「ロゴマーク」が完成しました。

多様な歴史的建物や伝統工芸などを同じしるしで結び、歩いて楽しめるエリアへと育みます。

6月からはロゴをあしらった約1,000個の風鈴が柳町を彩ります。涼やかな音色とともに街並みを散策し、佐賀の魅力に触れてみませんか？



風鈴イベント開催！詳しくはこちら！

